

議会だより



白山市

第30号

2012

平成24年11月



「秋 高 し」

写真提供：中川 秋夫さん（白山市富光寺町）
撮影地：富光寺町近辺

目 次

意見交換会で真剣討論	2	常任委員会レポート	16
平成24年8月臨時会、9月定例会概要 ...	4	市民の声・編集後記	18
一般質問	7		

いま課題なのか

意見交換会で真剣討論

議会改革の一環として、議会内の議論や政策形成につなげていくため、各種団体の皆さんと情報・意見を交換しました。

建設企業常任委員会

今後の公共事業の在り方と
まちづくり

社団法人白山・石川建設業協会

(8月10日11名参加)

白山・石川建設業協会は、白山市、野々市市の建設業84社が加盟し、地域を担う建設産業を目指しています。

協会役員から「北陸新幹線高架下に、備蓄倉庫や除雪機械の待機場所などを設置できるよう、JR西日本、鉄道・運輸機構に協議をお願いしたい」「住宅リフォームをする場合や、アパートに居住している

若い市民の方々を対象に、住宅を新築する際の助成を検討してほしい」「今後、建設業者の減少が予想されるため、町内の消雪設備設置を順次進めるべき」「安全・安心のまちづくりのため、市内全域で無電柱化を計画的に進めてほしい」「松任駅周辺の活性化のため、4車線化を検討願いたい」そのほか、手取川河床整備や公共施設の老朽化防止、統廃合後の対策などについて意見がありました。

委員からも北陸新幹線、合併特例債の現



災害に備え、土のう作りに励む協会の皆さん

況説明のほか、「手取川河床整備は、災害や魚の生息域の観点等から、国や県に対して要望をしていくべき」「住宅リフォームの助成は、介護を要する高齢者までが妥当ではないか」「除雪車オペレーター」の指導が重要である」など意見を述べました。

今後、厳しい財政状況が想定されますが、官民協働で災害に強いまちづくり、市民生活の維持・向上のため、適切な事業を進めていく必要があります。

総務企画常任委員会

まちづくり計画の進捗状況と今後

地域審議会(8月20日8名参加)

地域審議会は、旧自治体単位で設置され、まちづくり計画に基づく各ハード事業に関する進捗状況等の確認を行っています。



地域審議会委員から「将来の収益性を十分に見込んだ上で、合併特例債の投資的活用を具体的に進めてほしい」「公共施設等の見直しでは、市全体の施設を有効活用できる配置となるよう考慮願いたい」「施設の収益性や費用対効果だけで統廃合が進められているような気がする。地域にとって、何が必要なのかを慎重に確認し、見直しを進めてほしい」「支所の統廃合問題は、地域活性化の要である。設置が計画されている白山ろく総合行政・防災センターについては、防災、利便性など、総合的に見て、白山ろく地域のみんなに喜ばれるような施設の在り方を検討してほしい」「地域審議会の設置期間は10年であるが、今後も意見交換を行う機会を設けてほしい」「旧自治体のころから市有地になっている野球場や小学校の旧校舎・跡地については、管理はもちろんのこと、今後の活用方法も考えてほしい」などの意見がありました。

何が

白山ろく地域では、支所や施設の統廃合により、人の流れが変わり、今後にぎわいがなくなるのではないかなど、不安の声が聞かれます。今こそ、市民と議会が一緒に手を携えながら、地域発展のために、邁進していくべきであると考えます。

文教福祉常任委員会

中央福祉館建設に向けての

思いや取り組み

身体障害者団体連合会（8月21日9名参加）

身体障害者団体連合会は、地域別（松任・美川・鶴来・白山麓）、障害別（視覚・聴覚・肢体）の各協会からなる会員約600名の組織です。現在、市では地域福祉活動の拠点施設となる（仮称）中央福祉館の整備を進めており、建設に当たつての思いを中心に意見交換しました。

連合会からは、現在のこがね荘と同様に専用スペースを確保できるかどうかを心配する声が多くあつたほか、施設への交通手段として、コミュニティバスの運行やエレベーター設置に対する特段の配慮など、さまざまな意見がありました。

委員からは、利用団体が直接行政に意見を述べる機会が必要であることや、災害時の円滑な支援に向け、普段から民生委員や町内会の皆さんと意見交換を行つてはどうかなどを提言しました。

今回、意見をお聴きし、改めて気付かされるが多々ありました。今後、施設設計に入る中で、障害をお持ちの方だけではなく、実際に利用される方の意見を十分に

聴くことが大切です。今まさに、中央福祉館が市民福祉のために最大限に生かされる施設となるよう、行政・議会共に知恵を絞り、考えていく必要があります。

施設の概要

所在地	白山市倉光八丁目16番地
建物の構造	鉄骨造2階建
延床面積	3200㎡
全体事業費	約17億円（用地費含む）

生活経済常任委員会

地産地消を推進し

農業振興を図るために

若手園芸農業者（8月17日6名参加）

地産地消推進の取り組みの一環として、地元産食材を学校給食に納入している市内の若手農業者と、現状や課題等について意見交換しました。

学校給食については、「その日に納入した食材を即日調理するため、短時間に複数の学校へ納入できる配送システムがあるとよい」「配送ルートを統一し、いつ、誰が、どこの学校へ食材を卸すのかが把握できれば、小規模農家でも食材納入が可能になるのではないか」「食育は地産地消につながるので、農家が苦労して野菜を作っているところを子どもたちに見せたり、体験させたりしたい」「学校給食の納入で、もうけようと思つていない。自分たちが作った野菜を、地元の子どもたちに食べてほしいという気持ちで取り組んでいる」「地産地消の課題を検証する必要がある」などの意見がありました。また、「農家はボランティアで地域活動に参加する機会が多い。食育などの活動は、

人件費相当分を負担してほしい」「水稻の転作物として何を作るかのめどを立てるため、市の戦略作物を推進する方向性を示してほしい」などの要望もありました。

委員からは「学校給食は、農家にとつてメリットが少ない。ボランティアで続けられるものではないため、経営面を考慮し協力していきたい」など意見を述べました。

これからは、農業ビジネスを育成するなどの機会が必要です。一方、若者が農業に飛び込んでくる環境づくりのためには、農業の楽しさをアピールすることも大切であると考えます。



生産者との交流給食会（松任小）

8月臨時会概要

平成24年第1回市議会臨時会
8月27日(月)

提案理由の説明で市長は「白山総合車両基地内に新幹線乗り場を設置できないか調査・検討してきたが、実現が困難となった。しかし、現状の利便性を確保するため、新幹線本線上に新駅ができないか検討を始める」と表明しました。今臨時会には、事件処分案2件が提案され、可決しました。

新幹線建設に伴う市道工事請負契約を可決

本議案は、予定価格1億5000万円以上の事業は議決を要するとの条例の定めから提案されたものです。具体的には、市道成北安田線付替工事(4工区)1億8690万円、市道宮保開発線付替工事(2工区)は、1億8795万円から2億2260万円に変更となり、それぞれ事業体と契約を行うものです。採決の結果、全員賛成で可決しました。

9月定例会概要

平成24年第3回市議会定例会
9月6日(木)～25日(火)

提案理由の説明で市長は「新幹線新駅設置に向け、自らが先頭に立って、民間団体と行政が丸となった運動を展開したい。また、硬式野球場の整備について、施設規模などハード面の精度を高めるための基本構想策定に係る経費を計上した」と表明しました。

今定例会に提案された、補正予算案4件、条例案8件、事件処分案3件、議会議案10件は可決し、事件処分案1件と平成23年度の決算認定については、次回の定例会までの継続審査となり、今定例会中に設置された決算審査特別委員会に審査を付託しました。

(仮称)白山駅整備に調査費、硬式野球場整備に基本構想策定費の計上

■補正予算案 4件

一般会計の総務費では、(仮称)白山駅整備基礎調査業務として、北陸新幹線新駅



仮称・中央福祉館建設予定地(手前が子育て支援センター)

キャラクターをさまざまなイベントや観光宣伝に活用するため、着ぐるみ制作経費70万円が計上されるなど、補正総額は21億6600万円となりました。

特別会計では、工業団地造成事業特別会計で、山島地区新工業団地整備のための用地取得費4億4200万円が計上されるなど、補正総額は5億2000万円となりました。

一般会計補正予算について、宮岸美苗議員から「硬式野球場整備推進事業で調査報告されている内容は、廃止予定の相木野球場の代替えとは言えず、市民感覚としても抵抗がある。今議会の予算計上は性急」との反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で、その他3件は全員賛成で可決しました。

※白山レイクハ일랜드(株)の損失補償

白山瀬女高原スキー場の施設貸出を業務としてきたが、平成23年7月に会社の解散を決議。保証債務約4億5400万円のうち、市は35・9%を負担することとなっている。



白山瀬女高原スキー場

■ 条例案 8 件

「白山市伝統的建造物群保存地区における白山市税条例の特例を定める条例」は、伝統的建造物に指定された家屋等に対する固定資産税を非課税とするなど、特例措置を定めるものです。「白山市松任学習センター条例の一部を改正する条例」は、効果的かつ効率的な運営を図るため、指定管理者への管理に変更、「白山市税条例の一部を改正する条例」は、白山都市計画区域として統一された、美川・鶴来地域の市街化区域を都市計画税の課税区域とするものです。議会初日に提案された 7 議案中、2 議案について、宮岸美苗議員から反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で、その他 5 件は全員賛成で可決しました。

議員報酬の改正条例に質疑・討論

追加提案された「白山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」については、議会運営委員会委員長報告に対し、古河尚訓議員から「若い世代が挑戦できる議会側の条件整備が不十分であり、市民の信頼を損ねる懸念がある。採決は時期尚早では」との質疑がありました。それを受け、藤田政樹議会運営委員会委員長から「議員の任期は来年 3 月であり、次世代が市政に参画できる環境づくりを勘案すると、今定例会での議決が最適である」との答弁がありました。宮岸美苗議員からも反対討論がありましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

反対討論(趣旨)

(発言者・宮岸美苗)

議会改革の取り組みは、まだ緒に就いたばかりであり、現時点では報酬増に対して、市民の理解を得るには至っていない。また、報酬を上げること若い世代が議員を志す条件とは、必ずしもリンクしないと考える。また、市民代表としてふさわしい議員活動を行うためには、幾らが妥当なのかという議論を全く行っていない。今回提示されている 7 万円増の根拠は不明確だ。

賛成討論(趣旨)

(発言者・村本一則)

市長は報酬審議会に諮問され、審議会では、これまでの議会改革の取り組みや、次世代の人が専門的に議員活動を行える環境づくり等を考慮し、報酬額の結論を答申されたと聞く。この改正案は、来期の議員の年間報酬額を全体で 12・6% 削減するものであり、これまでも議会は議員定数削減とともに、議会経費の削減に大きく寄与してきた。

■ 事件処分案 4 件

市営和波住宅建設工事施行に 2 億 3 200 万円の契約、また、白山レイクハイランド(株)への損失補償の経費として、第三セクター等改革推進債の発行など、3 件の議案は採決の結果、全員賛成で可決しました。なお、「平成 23 年度白山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分」については、全員賛成で継続審査となりました。

採決結果一覧 (賛成反対が分かれたもの)

○=賛成、×=反対		H24 一般会計補正予算	白山市松任学習センター条例の一部を改正する条例について	白山市宮住宅条例等の一部を改正する条例について	白山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	緊急事態に対応する必要な法整備を求める意見書	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓外交の見直しを求める意見書	香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書
氏名	会派名								
永井 徹史	市民	○	○	○	○	○	○	○	○
石地 宜一	一創	○	○	○	○	○	○	○	○
森本 茂	創誠	○	○	○	○	○	○	○	○
小川 義昭	市民	○	○	○	×	○	○	○	○
古河 尚訓		×	○	○	×	×	×	×	×
安田 竹司	創誠	○	○	○	○	○	○	○	○
本屋彌壽夫	創誠	○	○	○	○	○	○	○	○
北嶋 章光	清流	○	○	○	×	○	○	○	○
宮中 郁恵	市民	○	○	○	○	○	○	○	○
村本 一則	市政	○	○	○	○	○	○	○	○
宮岸 美苗		×	×	×	×	×	×	×	×
岡本 克行	市政	○	○	○	○	○	○	○	○
杉本 典昭	創誠	○	○	○	○	○	○	○	○
石田 正昭	市政	○	○	○	○	○	○	○	○
小島 文治	市政	棄権	棄権	棄権	棄権	○	○	○	○
寺越 和洋	創誠	○	○	○	○	○	○	○	○
吉田 郁夫	清流	○	○	○	×	○	○	○	○
竹田 伸弘	市民	○	○	○	○	○	○	○	○
清水 芳文	市民	○	○	○	○	○	○	○	○
北村 登	市民	○	○	○	×	○	○	○	○
北川 謙一	清流	○	○	○	×	○	○	○	○
藤田 政樹	一創	○	○	○	○	○	○	○	○
岡田 俊吾	創誠	○	○	○	○	○	○	○	○
西川 寿夫	一創	○	○	○	○	○	○	○	○
中西 恵造		○	○	○	○	○	○	○	○
徳田 巖	市民	○	○	○	×	○	○	○	○

*議長(前多 喜良)は採決に加わりません。

■議会議案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10件

意見書が10件提案され、採決の結果、③④⑥は賛成多数、その他は全員賛成で可決しました。

【意見書】

①石川県におけるドクターヘリの早期配備を求める意見書（提出者・吉田郁夫）

平成19年にドクターヘリを用いた救急医療の確保に関する特別措置法が制定された。救急医療が深刻な状況にある石川県は、導入に向けた検討及び施策等を速やかに実現するよう強く求める。

②地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

（提出者・安田竹司）

地球温暖化防止をより確実なものにするため、森林の整備・保全等の取り組みを山村地域の市町村が主体的に実施することが不可欠である。国は、本年10月に導入される「地球温暖化対策のための税」を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築するよう強く求める。

③緊急事態に対応する必要な法整備を求める意見書

（提出者・石田正昭）

東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故における我が国の対応にあるように、国家的な緊急事態における国民の安全を守るための法律の不備が指摘されている。国は、今後想定される、あらゆる緊急事態に対応する必要な法を早急に整備するよう強く求める。

④北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

（提出者・岡田俊吾）

拉致の責任者である金正日の死は、拉致被害者救出の好機となり得るため、金正恩政権に強い圧力をかけ、実質的交渉に引き出さねばならない。国は、全精力を傾けて、全ての拉致被害者を早急に救出するよう強く求める。

⑤李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓国外交の見直しを求める意見書

（提出者・杉本典昭）

韓国大統領が島根県竹島に不法上陸した行為、また天皇陛下下の韓国訪問に言及するなど、とうてい容認し得ない。国は、国際司法裁判所提訴にとどまらず、日韓通貨協定更新の見直しなど、対韓国外交の総合的見直しを進めるよう強く求める。

⑥香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書

（提出者・寺越和洋）

今回、みすみす不法上陸させたことに対する政府の対応は、我が国の国家主権も守れない愚行と言わざるを得ない。国は、尖閣諸島及びその海域の警備態勢・方針を抜本的に見直すとともに、領土・領海を守るための法整備を強く求める。

⑦地方財政の充実・強化を求める意見書

（提出者・竹田伸弘）

急速な高齢社会が到来し、安心できる社会保障制度を確立するためにも、安定した財源の確保が重要である。国は、地方財源の充実・強化を図るために、地方交付税の総額確保と再分配機能の強化等、抜本的な対策を進めるよう強く求める。

⑧自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書

（提出者・清水芳文）

地方自治体が所有・管理する社会資本の多くは、現在改築期を迎えている。国は、課題である社会資本の経年劣化対策等の防災・減災のための事業について、重点的な予算配分を行い、地方負担額の軽減措置を講ずるよう強く求める。

⑨「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書

（提出者・宮中郁恵）

脱法ハーブは覚せい剤や麻薬等乱用への「入り口」になることが危惧されており、早急な規制強化が急務の課題である。国は、「包括指定」を早急に導入するなど、法整備の強化を図るよう強く求める。

⑩改正貸金業法の堅持及び多重債務対策の強化を求める意見書（提出者・古河尚訓）

深刻な多重債務問題解決のため、改正貸金業法が完全施行されてから2年が経過し、大きな成果を上げている。他方、再び金利引き上げや、総量規制の緩和を求める動きがある。国は、現行の改正貸金業法を堅持するとともに、多重債務対策の取り組みを強化・推進するよう強く求める。

12月定例会の日程

12月4日（火）本会議（提案説明）

11日（火）本会議（一般質問）

12月12日（水）本会議（一般質問）

13日（木）本会議（一般質問予備日）

20日（木）本会議（最終日）

一般質問

「そこがききたい」市政を問う

9月定例会の一般質問は、13日、14日の2日間にわたり行われました。

13日の質問議員

- 小川 義昭 議員** 7ページ
市民主体の「まちづくり協議会」設置を提案する
- 北嶋 章光 議員** 8ページ
幼保連携型の「認定こども園」を
- 岡本 克行 議員** 8ページ
東大寺領横江荘遺跡の史跡公園整備を
- 本屋 彌壽夫 議員** 9ページ
射撃場建設の考えは
- 清水 芳文 議員** 9ページ
傾聴ボランティアの育成強化を
- 寺越 和洋 議員** 10ページ
白山警察署鶴来庁舎の業務体制は
- 宮岸 美苗 議員** 10ページ
(仮)白山駅と野球場整備について財源の見通しを
- 森本 茂 議員** 11ページ
映画口ケ地の誘致を
- 小島 文治 議員** 11ページ
高齢者の介護保険給付費の膨張に歯止めを

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

14日の質問議員

- 竹田 伸弘 議員** 12ページ
津波の避難場所に高速道路の利用を
- 宮中 郁恵 議員** 12ページ
市南部地域に医療機関併設の病児保育施設開設を
- 安田 竹司 議員** 13ページ
北陸新幹線の新駅を白山市内に
- 永井 徹史 議員** 13ページ
公共財整備(野球場)と公共施設見直しとの整合性
- 石地 宜一 議員** 14ページ
松任駅周辺の防犯対策を
- 古河 尚訓 議員** 14ページ
白山市型の教育支援事業の立ち上げを
- 村本 一則 議員** 15ページ
地域審議会は機能しているのか
- 中西 恵造 議員** 15ページ
白山市に北陸新幹線新駅設置を

みなさまの傍聴をお待ちしています

※本会議の傍聴は、当日、市役所7階で受け付けています。
なお、白山市ホームページで議会録画映像や、「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になることができます。



小川 義昭 議員

A 地域住民が自発的に組織すべきもの

Q 市民主体の「まちづくり協議会」設置を提案する

質問 「まちづくり協議会」を公民館単位とし、人的・財政的支援(市民税の1%、1協議会当たり約230万円)を充実させ、市民を主体とした協働によるまちづくりを提案する。

企画財政部長 行政が主導して設置すべきものではない。権限と財源の移譲は現時点では難しいが、行政として側面からの支援という形で鋭意応援したい。

都心のまちづくり 基本計画策定に向けた協議会立ち上げなど、昨年9月定例会の答弁から1年が経過した。その後の進捗状況及び都心のまちづくりの考え方は。

市長 協議会の立ち上げには至っていない。基本計画の策定により、郊外での開発が抑制される課題もあり、

質問 協議会の立ち上げは、民間が主体となり、行政は後方支援する形態が望ましい。本市観光ビジョン基本構想として計画している白山ブ

産業部長 松任地域は、旧商業施設ジョイモル跡地が民間で再開発されることになり、今後、にぎわい再生に向けたビジョンをまとめる。美川・鶴来地域は、計画策定には至っていない。地元商店街のにぎわいづくりをできるだけ支援したい。

観光プラットフォーム 観光推進は、民間が主体となり、行政は後方支援する形態が望ましい。本市観光ビジョン基本構想として計画している白山ブ

地域商店街の活性化計画 各地域の商店街活性化計画の進捗状況及び今後の計画は。

市長 観光推進の考えは、ご指摘のとおりだ。観光素材を二元的に集約し、発信する組織であり、(仮称)白山市観光連盟と名付け、関係団体と活動や役割について協議を開始した。具体的な事項は、準備委員会で順次構築される。

中心市街地の活性化を



中心市街地の活性化を



北嶋 章光 議員

Q 幼保連携型の「認定こども園」を

A 年内に結論を出したい

質問 美川地域では、今年度から蝶屋保育園が民営化され、一部改修工事が行われているが、それよりも古い建物が、美川保育園である。いずれ近い将来、改築しなければならない施設だが、美川幼稚園に隣接しているという立地条件から、この2つの施設を統合し、白山市第1号の幼保連携型「認定こども園」にしてはどうか。

市長 保育について検討委員会を設置し、美川地区をはじめとした「認定子ども園」の設置についても議論いただき、年内に結論を出したい。

美川公民館の見直し計画

質問 美川公民館は、石川ルーツ交流館に移転することになっているが、多額の改修費が必要となる。現在の美川すこやかセンターの2階、3階部分を共用して使用すればどうか。

市長 美川すこやかセンター内に市民サービスセンターと併せて移転併設する計画案で検討を進めている。



美川すこやかセンター内に公民館併設を

質問 白山市緑の基本計画に「東大寺領横江荘遺跡」について、国指定史跡の追加指定を目指し、史跡公園として整備・保全するとともに有効活用を努める」とあるが、現状と整備内容及び時期をどのように考えているか。

市長 平成21年度から4カ年計画で、国・県の補助を受け、横江荘遺跡の範囲と位置付けについて調査を実施しており、今年度、調査報告書を刊行し、来年度以降、国史跡への追加指定事務を進める。また、整備については、貴重な遺跡を末永く保存しつつ、郷土の歴史が学べる場として、多くの市民に活用いただけるよう、内容を検討したい。整備時期は、園の位置付けと併せ、市街化あり、文化庁・県教育委員



岡本 克行 議員

Q 東大寺領横江荘遺跡の史跡公園整備を

A 国史跡の追加指定事務を進め整備も検討したい

質問 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、

市長 白山市都市計画マスタープランでは、周辺地域は「生活利便施設などの商業施設も立地する工業団地と史跡公園」の土地利用は、



横江庄の想像図（東大寺領段階）



本屋 彌壽夫 議員

Q 射撃場建設の考えは

A 庁内協議で中止とした

質問 旧鳥越村は、9年前より鳥越大日スキー場にライフル射撃場建設を計画。これまで県と県猟友会が計200万円、市が100万円の調査費を投入し、自然環境調査や立地可能性業務調査などを経て、スタートから6年半で全ての調査が完了した。鳥越地区町会長協議会も市長に要望書を提出したとのことだが、突然の中止。その理由は。

産業部長 多額の建設費や維持管理費が必要なことなどから、市が事業主体となる建設は中止と決めた。

質問 ブナ、ミズナラ、コナラなどが大凶作で、山の動物たちは大飢饉となつていくようだ。クマが民家近くに出没した場合は、どのように対応するのか。

産業部長 クマが集落近

くに出没した場合は、市関しているが、市ではどのような指導をしているのか。

産業部長 「白山ふもと会」は、県内で先駆けてスター

質問 イノシシの被害が過去最大となった昨年、市では捕獲数が前年より218頭少ない191頭と減少が目立った。イノシシには学習能力があると聞か

「わな」で何頭、捕れたのか。供していきたい。

産業部長 イノシシの捕獲数は、21年度は280頭、22年度は409頭、23年度は191頭である。そのうち、「わな」での捕獲は、21年度は10頭、22年度は45頭、23年度は1頭である。

質問 「白山ふもと会」は、クマやイノシシの食肉処理施設を開設したが、施設の増設やジビエ利用について

の指導と考える方は。また、県ではガイドラインを策定



増え続けるイノシシ

※ジビエ

狩猟により食料として捕獲された野生の鳥獣



清水 芳文 議員

Q 傾聴ボランティアの育成強化を

A 養成講座やフォローアップ講座の充実に取り組む

新しい福祉・認知症対策 ①厚生労働省が検討している看護師や作業療法士など、専門家でつくる初期集中支援チームを取り入れては。②傾聴ボランティアの育成強化を。

健康福祉部長 ①高齢者支援センターが中心となり、対応している。支援チームの設置については、調査・研究する。②養成講座やフォローアップ講座を充実し、育成強化に努める。

質問 ①厚生労働省が検討している看護師や作業療法士など、専門家でつくる初期集中支援チームを取り入れては。②傾聴ボランティアの育成強化を。

健康福祉部長 ①高齢者支援センターが中心となり、対応している。支援チームの設置については、調査・研究する。②養成講座やフォローアップ講座を充実し、育成強化に努める。

質問 ①以前から訴えてきた徳光北交差点以南の4車線化の進捗状況は。②幹線道路と交差する進入路の現状や危険箇所の対応策は。

市長 ①平成22年に事業

の状況を踏まえ、交差する県道・市道の信号調整や誘導看板の設置等、安全対策に努めている。

質問 ①以前から訴えてきた徳光北交差点以南の4車線化の進捗状況は。②幹線道路と交差する進入路の現状や危険箇所の対応策は。

市長 ①平成22年に事業

の状況を踏まえ、交差する県道・市道の信号調整や誘導看板の設置等、安全対策に努めている。

質問 ①以前から訴えてきた徳光北交差点以南の4車線化の進捗状況は。②幹線道路と交差する進入路の現状や危険箇所の対応策は。

市長 ①平成22年に事業

の状況を踏まえ、交差する県道・市道の信号調整や誘導看板の設置等、安全対策に努めている。

質問 ①以前から訴えてきた徳光北交差点以南の4車線化の進捗状況は。②幹線道路と交差する進入路の現状や危険箇所の対応策は。

市長 ①平成22年に事業

の状況を踏まえ、交差する県道・市道の信号調整や誘導看板の設置等、安全対策に努めている。

質問 ①以前から訴えてきた徳光北交差点以南の4車線化の進捗状況は。②幹線道路と交差する進入路の現状や危険箇所の対応策は。

市長 ①平成22年に事業

の状況を踏まえ、交差する県道・市道の信号調整や誘導看板の設置等、安全対策に努めている。

質問 ①以前から訴えてきた徳光北交差点以南の4車線化の進捗状況は。②幹線道路と交差する進入路の現状や危険箇所の対応策は。



市内唯一の電気自動車用充電スタンド



寺越 和洋 議員

Q 白山警察署鶴来庁舎の業務体制は

A これまでの業務継続を
図っていくと聞いている

質問 白山警察署鶴来庁舎改築後の業務内容は。

市民生活部長 12月末に

完成し、優良運転手や軽微な違反の運転免許証更新など、従来の業務を継続する。

質問 駐在所員が1名体制になり、住民から不安視されているが、防犯や交通安全の体制の充実は。

市民生活部長 鶴来庁舎に機動警察の警察官を増強配置し、防犯パトロールを行っているとのこと。事件・事故現場には、これまでよりも多くの警察官が急行するなど、治安の維持・強化が図られていると思う。

政府の防災基本計画修正案 質問 修正案は、「自治体首長らの職務代理や庁舎代替拠点確保の検討を促す」とあるが、地域防災計画をどのように見直す予定か。

また、代替拠点施設は、県有施設が近隣にある鶴来支所が妥当ではないか。

市民生活部長 職務代理

備予定の舟岡山城跡整備事業と一体となり、獅子吼高は、地域防災計画見直しの中で検討する。

質問 住民基本台帳や戸籍・税務資料など、重要情報

のバックアップ体制は。市長 外部のデータセンターに移設する方向で検討している。

手取川七ヶ用水施設群調査事業

質問 事業内容、重要文化財指定の可能性の有無及び指定時期は。

市長 3カ年計画で大

門、隧道、富樫用水分水門などの現地調査と施設の設計図・文書等を調査し、報告書を作成する。文化庁

の現地指導などから可能性



重要文化財の指定に期待



宮岸 美苗 議員

Q (仮)白山駅と野球場整備について
財源の見通しを

A 事業計画が具体化した段階で
提示したい

質問 在来線新駅設置の負担と、在来線が第三セクターの運営になるため、二

重の市民負担となる。両事業とも市民合意が得られているとは言えず、まずは合意を得る努力をすべきではないか。

市長 在来線新駅の設置は、周辺住民の利便性向上が目的だ。また、公共交通

の維持は住民生活に不可欠であり、第三セクターへの市の負担はやむを得ない。

新駅設置については、都

市計画マスタープラン策定の際に、広く市民の意見を聞いたところであり、基本的な合意は得られていると考える。野球場については、基本構想の策定結果を踏まえて議論する中で、結論を出していきたい。

自然エネルギーの活用と地域振興

質問 ①市内の自然エネ

ルギー適地調査はしたのか。また、自然エネルギーの潜在能力はどれほどか。②農業用水の活用を考えているか。③自然エネルギーの「特

区」申請で、白山ろくの地域振興策を探索しては。

④2次避難施設の自家発電用に自然エネルギー設備の計画的導入を検討しては。

⑤新エネルギービジョンの策定を。

企画財政部長 ③特区の認定は、今年度申請以降は当面行わないとの方針が示されており、極めて厳しい。

市民生活部長 ①行っ

ていない。国の調査報告では、県内には太陽光発電378万kw、陸上風力発電321万kw、中小水力発電25万kw

の導入が可能であると推計されているが、市町村単位

のデータがなく、本市分は分からない。②今年度、県が実施する農業用水利施設の小水力発電の可能性調査や、国の水利権の手続き簡素化

を踏まえ、検討していきたい。

④地域防災計画見直しの中で検討していく。⑤市環境基本計画に再生可能エネルギーについての市・市民・事業者の取り組み項目を既に記述しており、新エネルギービジョンを策定する

考えはない。

予防接種の助成拡充を

質問 子どもの予防接種

年間1000円助成券の拡充を求める。健康福祉部長 助成券は好評だが、拡充については、他市の状況も見極めながら検討していきたい。



ロケーション撮影を誘致し地域活性を
(鶴来地域でのロケ)

市長 本年度の取り組みとして、先般、自転車イベント、越前が、共同で企画すること前加賀アースラが必須となるため、関係者間を調整が必要となる。今後の事業として、福井県議会を構成するメンバーに、大野市を会場、環白山観光圏の共同研究を、越前・加賀提唱し、広域観光の推進に、グルメフェスタ努めたい。

観光推進部長 県などが運営補助をしている金沢フィルムコミッションを通じて、平成20年に映画「バラッド」を鳥越城址で、平成21年には映画「ライズアップ」を獅子吼高原で、ロケ地として取り組みと事業内容は。

質問 これまでの広域連携事業として、広域観光についてどのような取り組みを行い、その効果はどうであったか。また、これからの取り組みと事業内容は。

観光推進部長 この計画を策定する場合には、関係自治体のほか、観光協会や商工会議所など観光事業者が、共同で企画すること前加賀アースラが必須となるため、関係者間を調整が必要となる。今後の事業として、福井県議会を構成するメンバーに、大野市を会場、環白山観光圏の共同研究を、越前・加賀提唱し、広域観光の推進に、グルメフェスタ努めたい。

質問 フィルムコミッションを積極的に推進し、映画、ドラマ、CM等のロケーション撮影などを誘致することにより、地域活性化、文化振興、観光振興を図っては。発信したい。

広域連携事業 受け入れたことがある。今後も金沢フィルムコミッションと連携し、本市の魅力ある観光地を積極的にロケ地として使われるように情報提供されており、協議会主催のイベント等でも多くの集客が図られている。

環白山観光圏の認定 観光圏整備法に基づき環白山観光圏の実施計画の認定を。



森本 茂 議員

Q 映画ロケ地の誘致を

A 金沢フィルムコミッションと連携したい



小島 文治 議員

Q 高齢者の介護保険給付費の膨張に歯止めを

A 持続可能な制度となるよう国へ要望していく



安心と活力ある長寿社会に向けて

質問 環境に配慮したオフィスづくりと庁舎等の節電対策への新たな取り組み内容は。

北田副市長 市独自で環境負荷の削減に努める「はくさんECOマネジメントプラン」を策定し、取り組んでいる。本庁舎の8月末現在の電気使用量は、前年対比1・2%削減の効果があつた。新たな取り組みとしては、施設のエネルギーの使用削減に向けた「管理標準」の作成や、本庁舎等の階段照明44本のLED化を図っている。

市長 増大する要介護認定者や介護給付費の緩和を図るため、転倒予防などの出前講座や筋力・体力の維持向上を目的とした教室など、さまざまな事業を実施している。

環境保全に貢献する行政の取り組みと効果 環境型社会に向けた行政の取り組み、施策の推進はどのように進んでいるか。

北田副市長 公共工事では、残土やコンクリートなどの発生抑制と再資源化、

さらに、要介護認定及びケアマネジメントの適正化、地域密着型サービス等の拡充を図り、より安心した日常生活の支援に積極的に取り組んでいる。

北田副市長 公共工事では、残土やコンクリートなどの発生抑制と再資源化、

介護保険制度の抜本的な見直しや十分な財政措置が



竹田 伸弘 議員

Q 津波の避難場所に
高速道路の利用を

A 避難場所としての
協議・検討を行う

質問 東日本大震災の大津波の際、周辺に高台や高層ビルがない地域では、高速道路の「のり面」を駆け上がり、200人以上の命が救われた。周辺に避難できる場所がない地域では、ぜひ高速道路を避難場所として利用できるように関係団体と協議し、整備すべきだ。

質問 先般、滋賀県湖南市で発達支援システムの状況を視察した。全国的にも珍しい「ことばの教室」が開設されていた。これまで「落ちつけない子」「家庭でのしつけができていない子」など、言葉や相談に対して適切に対処できるような取り組みを進めることが必要だ。H25年度に整備する「発達支援センター」創設の前に、「ことばの教室」の開設ができればよいと思うが。

市長 発達障害に関する市民意識・発達障害と共生社会に関する意識調査が昨年12月に実施され、今年3月に金沢大学の研究会から報告された。内容は、「自閉

症」や「発達障害」の言葉は知られているが、最近問題化されているその他の発達障害及び相談窓口に関する社会的な認知度は、まだまだ低い状況であった。一方、発達障害の早期確認に対する大きな期待感も確認できた。

今後、発達障害に関する理解を深める機会を設けるなど、要望や相談に対して適切に対処できるような取り組みを進めることが必要だ。H25年度に整備する「発達支援センター」創設の前に、「ことばの教室」の開設ができればよいと思うが。

市長 発達障害の相談支援体制の整備と併せて検討したい。就学前にできるだけに早く確認できるように、仕

組・体制づくりをしてい



宮中 郁恵 議員

Q 市南部地域に医療機関併設の
病児保育施設開設を

A 保護者から求める声があり
実施を働きかけたい

質問 市内唯一の病児保育センターは、H22年9月開所以来、市内外の多くの方に利用いただいている。H23年度の利用は1009人だ。そのうち松任地域は752人、美川地域は41人、鶴来地域は129人、白山ろく地域は14人、本市以外は73人であった。

質問 新設した「女性専門相談窓口」の反響は

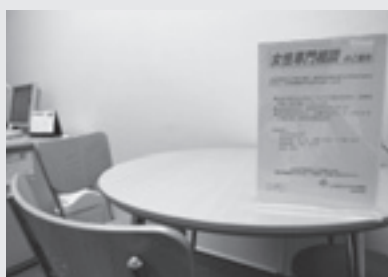
質問 H24年4月に公立松任石川中央病院内に「女性専門相談窓口」を新設したが、まだ知らない方も多くいるため、周知の取り組みが必要である。利用状況と今後の課題は。

健康福祉部長 利用状況は、現在まで7人の利用があり、必要な場合は医療へつなげている。もつと気軽に利用していただけるよう、窓口の一本化と総合的な支援体制に取り込む。この新しい取り組みにふさわしい平仮名の表記に改め、意気込みを示してはどうか。

市長 国の改革推進会議で統一見解を出してほしい。現時点ではできない。

質問 「害」の表記は負の

イメージがあるとして、平仮名の「がい」に改める動きが全国で広まっている。



中央病院内「女性専門相談窓口」の周知を

質問 「害」の表記は負のイメージがあるとして、平仮名の「がい」に改める動きが全国で広まっている。

市長 国の改革推進会議で統一見解を出してほしい。現時点ではできない。



安田 竹司 議員

Q 北陸新幹線の新駅を白山市内に

A 期成同盟会的な組織を設立し 強く働きかけたい

質問 先般、金沢・敦賀間の起工式が盛大に執り行われ、引き続き北陸新幹線建設促進石川県民大会が開催された。北陸新幹線の敦賀延伸に伴う在来線特急の廃止は、本市にとって大きな優位性を失うことになる。

出はよろか、企業の撤退も辺には工業団地が多く、新懸念されることから、何と駅設置は企業誘致にも大きなプラスとなり、本市の真価が問われると思う。今後、新駅設置に対する署名運動を行う気持ちはあるのか。

市長 先般、地元住民や盟会的な組織を設立し、国など関係機関に対して強く働きかけていきたい。関係機関の理解を得るには、ま

ず本市が一丸となるであろう会」は、署名活動を行っていく決議をした。市として、その活動を支援していきたい。

質問 JR加賀笠間駅周きたい。

新駅設置の署名運動を

質問 JR加賀笠間駅周きたい。

要素でもある。市民、企業の利便性や市の将来のためにも、北陸新幹線の本線上に新駅を設置する構想は必要である。今後、どのように実現に向けた運動を展開するのか。

市長 新幹線が敦賀まで延伸されると、市内には特急列車が一本も停車しなくなる。このことは、企業の進



北陸新幹線新駅設置の実現を



永井 徹史 議員

Q 公共財整備（野球場）と 公共施設見直しとの整合性

A 将来に向けた投資であり 整備すれば稼働率は伸びる

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

質問 獅子吼高原を活用し、小学生向けに扇状地、島集落の眺望によるジオパーク学習を実施し、 Gondola 料金も割り引くべき。

企画財政部長 空き家バンクの稼働状況

質問 2年前に、白山ろく地域で急増している空き家を活用した定住促進、交流人口増加等の解決策を提言した。現在の進捗・稼働状況はどうなっているか。

市長 旅行会社から要望・需要がある中、空き家情報の提供や民泊登録制度の早急な創設を提言する。

市長 白山ろく地域の意

市長 白山ろく地域の意

市長 白山ろく地域の意

市長 白山ろく地域の意

市長 白山ろく地域の意

市長 白山ろく地域の意

市長 白山ろく地域の意

市長 白山ろく地域の意

市長 白山ろく地域の意

市長 白山ろく地域の意

市長 白山ろく地域の意



石地 宜一 議員

Q 松任駅周辺の防犯対策を

A 駅周辺に警察官の常駐を 要望していきたい

質問 松任警察署移転後の松任駅周辺の治安・防犯対策・防犯シンボルとして、交番の設置をこれまでに2回提案してきた。交番設置が無理ならば、駐在所の設置を提言する。

市長 「白山・丸かじりの日」については、教育委員会や学校栄養士と連携しながら、旬な地元食材を使用した日の設定拡大に努めたい。「早寝・早起き・朝ごはん運動」都市宣言については、これまででの市民協働による食育、地産地消の取り組みにより、昨年度、全国地産地消活動優良事例に選ばれた。新たな都市宣言は考えていない。

企画財政部長 松任・鶴来地域で二斉放送が可能になることから、有効な選択肢の一つである。また防災行政無線と音声告知放送を接続させた緊急時の情報伝達方法は、音声告知放送の

この回答を得た。市としても、治安情勢を踏まえ、松任駅周辺に警察官の常駐を要望していきたい。

地産地消と食育の推進を

質問 地産地消を推進するには、小中学生に消費してもらうのが一番効果的である。月または週単位で、「白山・丸かじりの日」を設定してはどうか。また、食

育の観点から、子どもの「早一一体型にしてはどうか。防犯・早起き・朝ごはん運動」に取組み、その宣言都市として、県内外にPRして屋内外同時に対応できれば、一層素早く市民に発信できるのではないかと。



古河 尚訓 議員

Q 白山市型の教育支援事業の 立ち上げを

A 実施に向けて 検討していきたい



休み時間の学校図書館は子どもたちでいっぱい

として任期を更新しないことはない。

松任駅から

登山バスを

質問 本市の玄関口が松任駅なら、白山登山の交通手段を持つべきだ。ネットの活用で事業は可能であり、松任駅整備に併せ、サービス事業の

市長 今年度から取り組んでいる、ひとり親家庭の学習支援事業と生活保護世帯を対象とした教育支援事業を併せて実施するには、制度の違いもあるが、今後実施に向けて検討していきたい。

観光推進部長 白山登山立ち上げと全国発信ができる。正規模職員ではないが、同等な責任を持つ一方で、理不尽な扱いであり、復帰後に雇用保障がなされて当然ではない。

非正規職員の待遇改善を

質問 本市の学校図書館事業の評価は高いが、その事業を支える司書の半数が非正規職員。現場では若い方も多く、産休・育休の制度活用は極めて重要。しかし、その取得期間が年度を

に、産休や一時休業を理由に、その取得期間が年度を

総務部長 国の法改正に基つき、平成23年3月に条例改正を行った。これにより、非常勤職員も育児休業の取得が一定の条件の下、可能となった。任期満了時成を含め、調整・検討していきたい。



連携一一体型で素早く情報発信を



村本 一則 議員

Q 地域審議会は機能しているのか

A 機能は十分果たされている

これまでの経緯説明で理解を得ているか

質問 地域審議会は、合併時に設置され、期間は10年である。どのような組織で、何回開催されたのか。また、機能しているのか。委員交代時、これまでの経緯を説明し、理解を得ているのか。解散後、地域協議会に移行する考えはないか。

執行状況・変更点を説明している

機能は十分果たされている。込みである。発行に必要な委員交代時には、新市建設一般財源は7億円となり、計画の経緯や内容・変更点合併特例債の発行期限延などを説明し、理解を得て長措置の活用や財源の平準化等も今後の検討課題と議論の意見を聴きながら検討したい。

合併特例債の発行可能残高は

質問

合併特例債充当事業額は481億3000万円であり、各地域のインフラ整備や住民の利便性確保のため、重要な意味を含んでいる。今後の発行可能額は、

市長 電気・機械の建築設備士を段階的に採用予定。

質問 タスクフォース導入の検討は。

総務部長 プロジェクトチームで対応している。必要であれば、柔軟・迅速に対応できるように取り組みたい。

質問 温泉利用治療の医療費控除施設の検討を。

健康福祉部長 先進事例も参考に調査・研究したい。

※タスクフォース 特定の課題を達成するために一時的に設置される組織のこと。

企画財政部長 平成23年度末までに241億円を発行済みであり、本年度発行予定額85億円を加えると累計326億円となる。今後の発行可能額は131億円となる見

今後131億円の見込み

質問 温泉利用治療の医療費控除施設の検討を。

健康福祉部長 先進事例も参考に調査・研究したい。

※タスクフォース 特定の課題を達成するために一時的に設置される組織のこと。

市長 十分な議論を重ね、結論を導き出したい。

質問 施設の統廃合、補助金の見直し、縮小・廃止



中西 恵造 議員

Q 白山市に北陸新幹線新駅設置を

A 新駅設置を目指していきたい

質問 新幹線が通るだけなら地元にはメリットはなく、実現に向けての階段を上り切ることが大切である。市は、市の一体感

市長 市民の総意を集約など行財政改革を進めており、経費削減により、市民に痛みが伴う改革を行って、新駅を核とした都市基盤整備を行うためにも、ご指摘のデーターをそろえながら、新駅設置を目指していききたい。

ご当地ナンバーの採用 霊峰白山をキーとした時代もあり、夢の大切さは十分知っている。しかし、平成32年度には実質交付税が約32億円漸減する中、年間22億円強の巨費を投じ、維持費3000万円にもなる事業を、今提案することには無理がある。再考を強く求める。

質問 施設の統廃合、補助金の見直し、縮小・廃止

市長 十分な議論を重ね、結論を導き出したい。

質問 施設の統廃合、補助金の見直し、縮小・廃止

市長 十分な議論を重ね、結論を導き出したい。

質問 施設の統廃合、補助金の見直し、縮小・廃止

市長 十分な議論を重ね、結論を導き出したい。

質問 施設の統廃合、補助金の見直し、縮小・廃止

市長 十分な議論を重ね、結論を導き出したい。

質問 施設の統廃合、補助金の見直し、縮小・廃止

市長 十分な議論を重ね、結論を導き出したい。

質問 施設の統廃合、補助金の見直し、縮小・廃止

市長 十分な議論を重ね、結論を導き出したい。

質問 施設の統廃合、補助金の見直し、縮小・廃止

市長 十分な議論を重ね、結論を導き出したい。

質問 施設の統廃合、補助金の見直し、縮小・廃止

市長 十分な議論を重ね、結論を導き出したい。

質問 施設の統廃合、補助金の見直し、縮小・廃止

市長 十分な議論を重ね、結論を導き出したい。

新幹線及び在来線の 新駅整備に向けて調査

総務企画常任委員会

(仮称)

白山駅整備基礎調査業務

質問 具体的な調査内容は。

答え 新幹線及び在来線新駅の基礎調査を行う。周辺の住宅の張り付きや今後の開発状況を調査するものである。具体的な計画については、今後調整していく。

行政視察報告

7月2日から4日にかけて、長崎県長崎市、諫早市及び大分県中津市を視察研修した。

長崎県長崎市 市民活動センター「ランタナ」

「ランタナ」は、市民力向上を図るため、さまざまな分野のボランティアや市民活動を行う人たちのための交流拠点施設として、平成20年10月に設置された。場所や施設等を提供し、情報の受発信・蓄積、相談、コーディネート、研修、交流ネットワークなどの機能を備えている。

交流サロンや相談室、5つの貸事務室や会議室、作業スペースなどが配置され、オープン以来、年平均約6000人、約140団体が利用している。



市民活動センター「ランタナ」

長崎県諫早市 地域づくり協働事業

平成17年3月に1市5町が合併し、旧5町で実施していた祭りやスポーツ行事などに交付されていた補助金は、合併後4年間で削減された。

しかし、地域が疲弊していくことへの不安から、地域活性化につながるため、各補助金を統合し、平成22年度より地域活性化交付金を加えた地域づくり協働事業交付金を各地域に交付している。また、各地域に地域づくり協議会を設立し、住民が自ら考え、実施できる仕組みをつくり、地域の特性を生かした事業が展開されている。

そのほか、中津市では、市街地との情報通信格差解消を目的として、情報化ネットワーク事業について視察した。

保育所民営化で 正規保育士の比率は約6割

文教福祉常任委員会

質問

ひかり及び蕨城保育所整備後の跡地利用をどう考えているか。また、2カ所の保育所民営化完了による正規保育士の比率は。

答え ひかり保育所は隣接地約1500㎡を取得・拡張・改築し、蕨城保育所跡地は売却する。民営化した蝶屋・いしかわ両保育園には市の保育士を派遣しており、現状の正規比率は把握していないが、10カ所の民営化が完了すると、公立保育所の正規保育士比率は約6割となる見込みである。

白峰小学校

質問 白峰小学校のボイラー故障に対し、ブルーヒーター設置による応急処置ではなく、学校の存続または、白嶺中学校への統合など、方向性を決定すべきでは。

答え 統廃合については、地元の意向を聴くことが大切であり、1年で結論が出るものではない。白峰小学校も含め、白山ろく地域の小規模校への対応についても、今後の大きな課題である。

松任学習センターの指定管理導入

質問 建物全部が対象か。

答え 図書館業務以外の建物全てを対象に業務を委託する。

質問 今後、図書館は指定管理とするのか。

答え 現在、指定管理にする予定はない。

行政視察報告

7月10日から12日にかけて、島根県松江市、大田市及び出雲市を視察研修した。

島根県松江市 小地域福祉活動

公民館と地区社会福祉協議会による連携事業のほか、町内会単位で要援護者支援会議を立ち上げ、平常時の見守りを通し、災害時の支援体制につなげる活動などに取り組んでいた。災害時には小地域での福祉活動が必要との理念を学びたい。

島根県大田市 山村留学事業

「三瓶こだま学園」の長期留学事業は、子どもたちには豊かな人間性を、地域には活力を生み出していた。卒園生によるふるさと納税や農産物の定期購入にもつながっており、価値ある事業と受け止めた。

島根県出雲市 地域学校運営管理委員会

理事会は、「地域の応援団」の立場で学校を支え、子どもを見守る活動をしていた。また、学校評価や学校配当予算の編成権が認められているなど、特色ある取り組みがなされていた。

生活経済常任委員会

海拔標示の実施を早急に

質問 海拔標示板設置と海拔表示シール作成の違いは何か。

答え 海拔標示板は電柱等に張り付けるため、電柱の所有者である北陸電力等へ業務委託し、海拔表示シールは標識ポールやカーブミラーに張り付けるため、各町内会へ配布する予定。

質問 海拔10m以下とは、どの辺りまでになるか。

答え 松任地域では、倉部町、相川新町をはじめ、石立町までの海岸線の町で、美川地域は漁港及び旧美川町全体になると思う。

質問 いつごろから始めるのか。

答え 10月に開催される防災会議で承認後、実施したい。

官民連携による観光事業の推進を

質問 (仮称)白山市観光連盟の組織体系をどのように考えているのか。

答え 白山商工会議所、各地域の商工会や観光協会をはじめ、交通事業者等、オール白山で組織したい。

質問 官民連携の官の関わりは。

答え 観光PRやパンフレットの印刷、事務局体制を含めた人的支援や専任職員の派遣など、官民一体となって取り組みたい。

意見 官が主体となれば発信力が弱くなる。民間主体となるよう、行政は側面支援を願いたい。

行政視察報告

7月10日から12日にかけて、大阪府岸和田市、兵庫県豊岡市及び京都府宮津市を視察研修した。

大阪府岸和田市

石畳と淡い街灯のまちづくり

岸和田市では、大阪ミュージアム構想モデル地区として、行政と住民が一体となり、岸和田城周辺の景観づくりや、にぎわいづくりに取り組み、交流の促進を図っている。

事業実施に当たり、地域住民と連携を図るため、岸和田城周辺まちづくり協議会を発足し、具体的な計画などを住民と情報共有し、一元化を図った。そのことにより、住民意識が高まり、住民団体によるプロジェクトが実施されるなど、まちづくりや景観づくりへの意識向上につながっている。

そのほか、豊岡市では、世界ジオパーク認定までの経緯や現況等、宮津市では、放置竹林の竹など木質等を利用したバイオマスタウン構想について視察した。

野球場整備は再度検討を

質問 硬式野球場整備推進事業について、提出された調査報告書の内容では市民の理解が得にくい。市民感情や議員間での議論を踏まえ、基本構想で見直しができるのか。

答え 一つ一つ細かく検討いただき、そのための資料も提示したい。

質問 市内には、野球場が少なく、相木野球場の代替施設を考慮のであれば、硬式にこだわる必要がないのでは。

答え 特にこだわっていない。

意見 これまでの議論を踏まえ、相木第二地区土地区画整理事業の進捗状況を見極めた上で、規模や整備時期、合併特例債発行期限等を総合的に勘案し、どのような野球場がふさわしいのかを再度検討すること。

行政視察報告

7月11日から13日にかけて、千葉県成田市、習志野市、浦安市及び東京都墨田区を視察研修した。

千葉県習志野市

東日本大震災後の下水道施設の復旧及び耐震化

震災後、液状化対策のため、下水道管を入れ換える箇所には改良

土を使用し、マンホールと下水道管を一体的に復旧する箇所については、地震時に対応できる部品を接合部に設置する対策を行った。市民からは、トイレのありがたさを実感したとの声が多くあった。

被災時にはライフラインの復旧が特に急がれる。本市でも、老朽化した下水道管等の更新をはじめ、災害時の初動体制の構築に万全を期することが重要である。

そのほか、浦安市でも、東日本大震災後のライフライン等の復旧、成田市では、公津西地区特定土地区画整理事業、墨田区では、墨田区景観計画について視察した。



液状化で路面に被害が残る舞浜駅（浦安市）



議会を傍聴して

油谷 智恵子さん（成町）

私は合併以来、今日まで毎回議会を傍聴させていただいています。自分自身よくまあ継続して・・・と内心驚いています。今ではもう1年のスケジュールの中に織り込まれ、白山市のために、議員、執行部が熱き議論を交わし、頑張っておられる姿に感動せずにはいられません。

振り返れば合併時には何となく地域格差があり、ごちなさ、議論内容も乏しさがありませんでしたが、今では財政のこと、合併のこと、観光のこと、福祉・教育・環境・防災・交通・健康・都市計画・農業・建設など、さまざまなテーマについて取り組んでおられます。定数も35人から28人に、そして今回は21人とさらに減り、ますます議員の質が問われます。

答弁も最初のころは市長答弁が多かったのですが、だんだんと改革され今では部長職の答弁が多くなり、議員の意識向上にも大変よいことだと思います。質問方式も一問一答制が取り入れられ、傍聴者にはとても分かりやすく、きめ細やかな答弁が得られます。時には熱が入り過ぎてジョークが飛び、笑いを誘う和やかな雰囲気になることもあります。ただ、時間がかかり過ぎるかな・・・との思いもあります。

目まぐるしく変動する社会情勢の中、現状の白山市を知るためにも市民の皆さん、議会を傍聴されてはいかがでしょうか。そして、あすへの白山市のため、議会、行政、市民が三者一体となって住みよい、安心で安全なまちづくりのため、邁進していかなければなりません。

議員の皆様のご活躍を今後も期待しています。



子どもたちへの手厚い投資を

ト部 和敏さん（坂尻町）

全国学力テストで石川県は常に上位にあり、特に今年は全国で3位につけました。子どもたちの努力はもちろんのこと、影で支える教師の努力も忘れてはならないと思います。

PTA 役員の立場から見ると、学校に割り当てられている予算が、教育現場において十分ではなく、かつ執行には大変な苦勞が伴っていると感じます。

学校へ配分される予算は全て目的を持ち、用途は限定されています。緊急に発生した修繕なども予算がつかず、PTA の運営費を使用している状態です。また部活動の面でも全国大会に出場するなど、運動や芸術で活躍する生徒も多数いますが、会場までの移動費や雑費等が予算項

目に合わず、教師が身を削って出費している現状です。

措置された予算は、執行されるごとにその報告を行わなければなりません。予算執行後に報告することは当たり前と考えますが、教師にとって複雑な報告の準備や資料作りなど、本来子どもたちのために使わなければいけない時間を、それ以上に消費しています。

学校で裁量可能な予算があれば、教師にも心の余裕ができ、子どもたちへの指導に専念できるのではないかと思います。財政難の中、裁量可能な予算の割り当ては難しいことと思いますが、将来の白山市を支える子どもたちに投資することは無駄ではないと考えます。

議会も未来を支える子どもたちのため、努力と協力をお願いします。

「白山市議会だより」は、創刊から早くも30号。少しでも皆さまの近くでお話を聴き、伝え、分かりやすい議会だよりでありたいという想いは、届いているでしょうか。

今回、特集として「意見交換会で真剣討論」を企画いたしました。編集に当たり、まず「市民が知りたいこと、議会が伝えたいことは何か」に視点をおきました。

これからも、議会活動がより身近に感じていただけるような、興味深い議会だよりを目指していきます。

（編集委員一同）

■編集委員会

委員長：寺越 和洋 副委員長：古河 尚訓
委員：石田 正昭、吉田 郁夫、清水 芳文、藤田 政樹

フォトメッセージ

表紙写真：中川 秋夫さん



爽やかなひと日、カメラを持って稲刈りが終わった近くの田んぼにコスモスや蝶にでも会えないかと出掛けました。空を見上げると、かなたこなたから素晴らしい秋雲が湧いていました。

何とかその季節感ある情景をカメラに取り込もうと、広角レンズで“雲の広がり”と秋風景”を夢中で撮影していると、稲を刈り終った切り株が残る田で、残ったわらを一面にまいておられる方を見つけました。来年の豊穡を祈りながら土作りをしているとのこと。瞬時に、切り株・農婦・秋雲と写真構図が脳裏で出来上がりました。

この写真は、許可をいただき撮影した中の1枚です。